



文部科学省科学技術人材育成費補助事業に採択されました!

女性研究者研究活動支援事業（拠点型）機関として 秋田大学が文部科学省に選定されました

平成16年より行っている、女性研究者がその能力を最大限発揮できるよう、出産・子育て等のライフイベントと研究を両立するための環境整備を行う取組の支援に加え、高等教育機関、自治体、企業等の他機関で「女性研究者支援コンソーシアムあきた」を創立し、これまでの取組で整備してきた仕組みを、地域全体へと発展させた「5つの架橋によるソーシャルキャピタル」を形成します。

今後も秋田大学を拠点に女性研究者支援を進め、より働きやすい環境を作り、女性研究者比率アップを目標に取組を進めて行きたいと思えます。



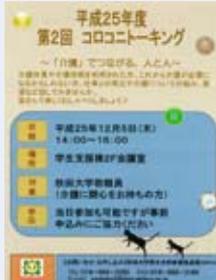
「架橋型ソーシャルキャピタル」の形成による
女性研究者支援

平成25年度 第2回 コロコニトーキングを開催します

秋田大学で働く教職員のみなさんと誰もが働きやすい職場環境を目指すため、ワーク・ライフ・バランスについて考え、みなさんのご意見・ご要望を聴くコロコニトーキング。平成24年度は2回、本年度は9月に開催し、たくさんの貴重なご意見を寄せて頂きました。

本年度2回目となるコロコニトーキングでは、昨年度のアンケートでも要望のあった介護支援に関するトーキングを開催いたします。既に介護に携わられている方の体験談やご意見、将来介護をするかもしれない方の疑問、不安に思っている事などを中心にみなさんでお話しながら、介護支援策と一緒に考えていく予定です。

いつかは考えなければいけない家族の介護。いざと言う時のために充実した支援策を作っていきたいと思えます。

日時	12月5日（木） 14:00～16:00	場所	学生支援棟 2F会議室	コロコニガイドブック Q&A  
対象者	秋田大学教職員 常勤・非常勤問わず皆様のご参加お待ちしております。 (当日はコロコニガイドブックQ&A集をご持参ください)			

参加申込は秋田大学男女共同参画推進室coloconiまで♪当日参加・途中入退室も可能です♪

平成25年度 第1回 コロコニトーキングを実施しました！

9月5日(木)今年度第1回目のコロコニトーキングを本道キャンパス内基礎医学研究棟第1会議室で開催しました。

今回は、「育児と仕事、人と人とのつながりづくり」のテーマで、育児休業中の方や育児休業取得希望の方、育児に興味のある方を対象に行いました。

当日は、附属病院の看護師をはじめ、男性職員の参加や、育児休業を取得中でお子さんを連れての参加者もいました。

「ワーク・ライフ・バランス自己チェックシート」を使用したの自分のワーク・ライフ・バランスのタイプ別診断の後、育児休業の取得や復帰時の制度・支援等についての話題でフリー

トーキングとなりました。参加者からは、「育児休業中は、給付金の支給と社会保険料の免除はあるが無給になるので、どのくらい収入減になるのか提示してもらえるとよい」や「育児休業を取得したくても、同僚に迷惑がかかるからと取得できずにいる人もまだいるため、職場の理解や休業を取得しやすい雰囲気づくりが、さらに必要ではないか」等の意見・要望が出されました。



コロコニトーキングの様子

平成25年度 男女共同参画推進フォーラムが開催されました



安藤氏講演の様子

11月15日(金)本学60周年記念ホールにおいて「平成25年度 秋田大学男女共同参画推進フォーラム」が開催されました。今回は、厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 雇用均等政策課 均等業務指導室長 安藤英樹氏にお越し頂き、「女性活躍の促進とワーク・ライフ・バランスの実現に向けて」と題してご講演を頂きました。

はじめに吉村学長よりフォーラム開催の趣旨を含めたあいさつがあり、その後、安藤氏の講演と続きました。

内容は、働く女性の現状と人口減少下における働く場を取り巻く状況の解説、女性のワーク・ライフ・バランスにおける国の施策と今後の方向性、秋田の皆さん、秋田大学にお願いしたい事としてポジティブ・アクション（女性活躍促進の取組）の実践、「リケジョ」（理系女子）の養成・進路教育などについてお話頂きました。

講演後の質疑応答では学内外問わず質問や意見などたくさんの声が上がりました。また、講演後のアンケートでは「国の政策、方針説明が直接聞けて良かった」、「資料が詳細で分かりやすかった」等満足頂けたというお声もたくさんありました。国の男女共同参画の考え方やそれを取り巻く社会の現状に理解を深められた大変有意義なフォーラムとなりました。



たくさんの声が上がった質疑応答

